

ネイティブ バチルス・セレウス ホスホリパーゼ C

Cat. No. NATE-0592

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 ホスホリパーゼCはトロンピンおよび血小板活性化因子によって誘導され、1,2-ジアシルグリセロールとホスファチジン酸を形成します。PLCはホスファチジルコリンおよび他のグリセロホスホリピッドのリン酸結合を加水分解し、ジアシルグリセロールを生成します。この酵素はスフィンゴミエリン、カーディオリピン、コリンプラズマロゲンおよびセラミドホスホリピッドのリン酸結合も加水分解します。

用途 ホスホリパーゼC (PLC) は、アドレノ受容体媒介の膜貫通シグナル伝達を研究するために使用されます。これは、イノシトールを含むホスホリピッドを分解するために使用されます。バチルス由来のホスホリパーゼCは、flhFがPLCおよび他の分泌性病原因子の輸出にどのように影響するかを研究するために使用されてきました。クリエイティブエンザイムズの酵素は、マンスニ条虫成虫のホスファチジルセリン分画の消化に使用されました。

別名 ホスホリパーゼC; PLC; 9001-86-9; リボホスホジエステラーゼI; レシチナーゼC; クロストリジウム・ウェルチ α -トキシン; クロストリジウム・オエデマティエンス β および γ -トキシン; リボホスホジエステラーゼC; ホスファチダーゼC; 熱不安定性溶血毒素; α -トキシン; EC 3.1.4.3

製品情報

由来 バチルス・セレウス

形態 約10%のタンパク質を含む凍結乾燥粉末。残りはトレハロース、硫酸亜鉛、およびリン酸カリウム。

EC番号 EC 3.1.4.3

CAS登録番号 9001-86-9

活性 > 200 ユニット/mg タンパク質

緩衝液 H2O: 溶解性 1.0 mg/mL、わずかに濁っているから濁っている

単位定義 1ユニットは、37°CでpH 7.3の条件下でL- α -ホスファチジルコリンから1分あたり1.0 μ モルの水溶性有機リンを放出します。

保管・発送情報

保存方法 -20°C